

2017年4月12日  
米国研究製薬工業協会

～新たな医薬品の継続的な開発と革新的な治療法へのアクセスの実現に向けて～

**複数年にわたる全米規模の広告キャンペーン****“GO BOLDLY(果敢に挑め)”を開始**TV・ラジオ・新聞・雑誌・デジタル・屋外媒体を通じた広告、  
研究者・政策立案者・介護者・患者さんなどステークホルダーとの包括的イベントを展開

※当資料は、米国研究製薬工業協会米国本部が、現地時間 2017 年 1 月 23 日に発表した報道資料を本日の記者会見の参考資料として日本で加筆・抄訳したものです。

ワシントン DC、2017 年 1 月 23 日：米国研究製薬工業協会(PhRMA)は本日、アメリカのバイオ医薬品企業を代表し、複数年にわたる全米規模の広告キャンペーン活動を開始することを発表しました。

“GO BOLDLY(果敢に挑め)”と銘打った本キャンペーンは、医療科学分野において最先端の進歩を実現させた、無名の英雄たちを讃え、極めて複雑で、甚大な被害をもたらす疾病に立ち向かう際の計り知れない可能性について紹介していきます。

PhRMA の理事長兼 CEO であるスティーブ・J・ユーブル(Stephen J. Ubl)は次のように述べています。

「バイオ医薬品の研究者と科学者たちのたゆまぬ努力により、病気を予防し治療する方法が大きく変貌し、医薬品は新たな時代を迎えています。今回のキャンペーンでは、アメリカの患者さんたちのために諦めることなく粘り強く献身するこれらの人々にスポットライトを当てました。またヘルスケアに関わるステークホルダーとのイベントも全米規模で開催し、国の医療制度を患者さんのニーズに、より即したものとするための方策についても議論していきます。」

キャンペーンは、テレビ、ラジオ、新聞・雑誌、デジタル、屋外などの媒体を通じた広告を駆使し、全米規模で展開していきます。新設されるウェブサイト“GoBoldly.com”では、キャンペーンで扱われるトピックやテーマに関するより詳しい情報をリニューアルして提供し、“Innovation.org”では、バイオ医薬品の最新ニュースを深く掘り下げていきます。

強固な意志と粘り強さで日々病氣と闘う患者さんや科学者を讃えた本キャンペーンは、様々なソーシャル・メディア・プラットフォームで利用できます。

広告キャンペーン始動時には、バイオ医薬品の研究における革新を中核テーマとして取り上げます。TV 広告の第一弾となる“Do Not Go Gentle”は、ディラン・トマスの有名な詩を引用し、不可能とされた発見を成し遂げ、不治の病を治癒した科学者たちの不屈の精神にまつわる実話を紹介。印刷媒体とデジタル媒体による“Cells”は、細胞レベルで実現している科学の進歩をエキサイティングにレポートします。

その他、科学における飛躍的な躍進や、これら最先端の進歩を実現している研究者たちの実像だけでなく、開発された医薬品によって利益を享受している患者さんたちの姿も、1 年を通じて続々と紹介していく予定です。また、これら媒体広告の他に、包括的な広報活動も全米各地で展開し、研究者、介護者、患者さん、政策立案者を迎えたフォーラムなどにより、全米規模での対話を促進します。これらの議論においては、医薬品の進化

が患者さんや医療制度にとってどのように寄与するのか、あるいは、このような進歩を継続させるためにはどのような政策が必要なのか、といったテーマが中心となります。

ユーブルは次のように述べています。

「医療分野におけるリーダーたちとの提携・協力により、新たな医薬品の開発を継続させ、市場を拡大し、患者さんたちが最も新しく革新的な治療法にアクセスできるようにするための、共通認識に基づいたソリューションを見出すことを目指します。」

キャンペーンは、「[科学における飛躍的な進化](#)」、「[価値主導型の医療制度](#)」、「[公衆衛生](#)」の3つの領域に分けて展開していきます。公式キックオフは2月と3月に下記の内容を予定しています。

- ・ 医薬品の新時代: 米国バイオ医薬品企業の科学者たちが集い、科学における飛躍的な進化に関する全国レベルの対話を促進
- ・ 価値を高めるコラボレーション: 医療制度全般における様々な関係者を巻き込み、価値主導型の医療制度を実現するための民間部門の取り組みを可能とする政策決定を推進
- ・ 公衆衛生: アメリカが現在直面している公衆衛生上の重篤な問題に関するアウトリーチ及び啓発活動

“GOBOLDLY”の最新 TVCM は、下記 URL よりご覧いただけます。

<https://youtu.be/VA--ZEJLoH8> “GOBOLDLY” :

キャンペーンに関する詳細は、“[GoBoldly.com](#)”及び“[Innovation.org](#)”をご覧ください。(英文のみ)

また、報道用にハイクオリティ映像、オーディオ、写真を希望される関係者の方は、[newsroom@phrma.org](mailto:newsroom@phrma.org) までお問い合わせください。

※本文中で紹介したウェブサイト(すべて英文)は、PhRMA ホームページからアクセス可能です。

## ●米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する投資額は、2000年からの累計では6000億ドル以上に達し、2015年単独でも推定で588億ドルになりました。

## ●米国研究製薬工業協会(PhRMA)日本オフィス

PhRMA 日本オフィスは、米国 PhRMA の会員である研究開発志向の製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて25年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社、アツヴィ合同会社、MSD 株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の10社です。

- PhRMA 日本オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- PhRMA ホームページ <http://www.phrma.org>
- PhRMA 日本オフィス Facebook <https://www.facebook.com/phrmajapanoffice>

【本件に関するお問い合わせ】  
米国研究製薬工業協会(PhRMA)広報事務局  
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)  
TEL:03-3291-0118 FAX:03-3291-0223  
E-mail:[phrma\\_pr@jc-inc.co.jp](mailto:phrma_pr@jc-inc.co.jp)  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 1-3-6 ウエタケビル 4F